

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9871

自転車活用推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	2	スポーツを通じた地域振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	企画調整費		
	大事業	企画調整事業		
中事業	自転車活用推進事業			

事業種別	継続		関連個別計画	地域再生計画		
事業年度	平成30年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	政策調整課	建島 克佳 435-1013
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	すべての自転車利用者が安全で快適に走れるよう、自転車を利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、自転車活用を推進する機運を高めていく。		自転車の活用を総合的かつ計画的に推進していくために、自転車活用推進法第11条に基づく和歌山市の実情に応じた自転車活用推進計画を策定し、自転車を利用しやすい環境づくりなどの対策を行うとともに、自転車に触れ、学び、そして楽しむ機会を創出し、自転車活用を推進する機運を高めていく。			
事業内容	平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				自転車に触れる、学ぶ機会を創出する。	自転車に触れる、楽しむ機会を創出する。 自転車活用推進計画の策定を目指す。	自転車に触れる、楽しむ機会を創出する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	0	0	379	244	1,994	0	1,994	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	426.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	0	0	9,591	9,831	18,542	0	18,542	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	9,591	9,831	18,542	0	18,542	0
国庫支出金	0	0	0	0	189	121	876	0	876	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	0	0	0	0	190	123	1,118	0	1,118	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	1.23	2.32	0.00	2.32	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金200千円 会場その他借上料179千円										

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	年度					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
自転車活用推進のための取組みの開催		回	目標値			1	2	2
			実績値			1		
			達成度(%)	%	%	100%	%	%
取組み(イベントなど)への参加人数		人	目標値			60	200	200
			実績値			50		
			達成度(%)	%	%	83%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成30年度は自転車シンポジウムを開催したり、第1回全国シクロサミットの開催地となったこともあり、自転車活用の機運を高めることができたと考えている。さらに自転車活用の機運を高めていくために、今後も自転車活用推進計画の策定に向けて準備を進めるとともに、引き続き、自転車に触れ、楽しむ機会を創出していく必要があると考えている。
見直し・改善内容	自転車活用の機運を高めるために、平成31年度は、広域連携によるサイクルイベントへの参画や自転車の利用環境の整備などを進めている。